

令和 8 年 8 月 18 日定例記者会見

【質疑応答要旨】

■令和 8 年小牧市議会第 3 回定例会提出議案について

記者 「小牧市職員等のハラスメントの防止等に関する条例」の制定は、昨年 8 月に議員による職員へのセクハラ疑惑が浮上したことで市職員組合（以下「組合」とする）が市と議会に特別職を含めた防止条例の制定を申し入れたことがきっかけとなるのか。「小牧市職員等のハラスメントの防止等に関する要綱」との違いは何か。ハラスメント認定まではどのような流れか。

市 本市では、これまでもハラスメント根絶宣言やハラスメントに対する基本方針、要綱を定め、ハラスメントの防止に努めてきた。昨今、市長や議員などの特別職も含めたハラスメント防止に関する条例を定め、より強力に職員の人格、尊厳の保護や働きやすい職場整備の確立を目指す自治体も増えていることから、本市においても具体的に対応や内容を盛り込み、実効性の高い条例を制定し、これまで以上にハラスメントの防止および排除に積極的に取り組むこととなった。また、昨年の組合からの要望についても今回の条例制定の理由の一つとなった。

要綱との違いは、市長や市議会議員などの特別職を対象に含めたこと、外部有識者によるハラスメント調査、審議等を行うハラスメント審議会を設けたこと、職員保護の観点からカスタマーハラスメント防止について含めたこと。

ハラスメント等の事実があった場合、職員は、注意指導、必要に応じて懲戒処分、特別職等は、氏名や事案内容を公表できるといった対応措置を設けた。

記者 これまで組合よりどのような指摘を受けているのか。組合が納得していない中で、9 月議会に上程すると判断した根拠は。

市 職員が働きやすい職場を整備するため、職員に対してパブリックコメントを行い、条例・規則の制定について組合とも可能な限り調整をし、有効的な意見を検討している。今回、上程にあたり、組合にもこれまでの経緯を説明し、正式に条例の申し入れをした。今後も細かい規則や指針について組合と調整し、有効的な部分を盛り込んでいく。

記者 条例施行日までに規則を制定するのか。

市 条例は、9月議会に上程し、10月1日施行を予定しているため、規則もそれまでに制定したい。

■通学路の安全対策について

記者 先月に発生した児童が亡くなった交通事故を受けて、通学路の安全対策として信号のない横断歩道に関してカラー化の実施をすでに事故現場では行われているが、横断歩道カラー化の取組の効果は。

市 横断歩道周辺をカラー化することで、運転手からの視認性が向上し、横断歩道への接近時に減速や、注意喚起を促す効果がある。また、児童が横断する地点を明確に示すことで、交通事故のリスク低減に繋がればと考えている。

記者 臨時会での補正予算では、25箇所ほどでの安全対策工事を想定しているとのことだが、今後、増やすことはあるのか。

市 8月5日の臨時会において、通学路安全対策工事を実施するための経費が補正予算で認めていただき、実施する運びとなった。それを受けて、全小中学校で夏休み期間中に緊急通学路の点検を実施している。一部、調査中の箇所や小中学校で重複する箇所もあるが、現時点の集計では、延べ324箇所、663件の危険箇所の要望をとりまとめている。要望の内容は、横断歩道のカラー化や設置、再塗装などの横断歩道関連が111件、通学路看板・標識の設置交換などが121件、その他、道路の整備関連が163件となる。今後は、その危険箇所について、関係機関で情報共有、対策協議し、交通量や道路幅員、事故状況などを勘案し、優先順位をつけて順次取りかかっていきたいと考えている。

■第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）について

記者 市が把握している小牧市ゆかりの出場選手はいるのか。

市 アーチェリー競技に日本男子代表で出場する舟橋 悠矢さんが市として把握している選手である。桃ヶ丘小学校、桃陵中学校を卒業し、現在は日本特殊陶業（株）に所属している。9月に市長表敬訪問を行う予定である。

■こまきイベント参加ポイント制度実証実験について

記者 対象イベントについて、市民はどのように知ることができるのか。何ポイントでこういった景品がもらえるのか。

市 対象イベントの一覧は、市ホームページに掲載して市民へ案内する。
ポイントは、ショッピングカードを取得すると 2 ポイントを付与、対象イベントに参加すると 1〜3 ポイントを付与する。5 ポイント、10 ポイント、15 ポイントに到達すると景品と交換できるため、一人最大 3 回の交換ができる。景品内容は、市指定ごみ袋や防災グッズ、ウォーターボトル、防犯対策のための小型ライトのほかに若者をターゲットとした景品などを検討している。

■「mottECO（モッテコ）」食品ロス削減実証事業について

記者 持ち帰り容器の特徴は。現在の協力店の募集状況は。

市 持ち帰り容器は、環境省推奨の mottECO のイラストが入ったシンプルな箱型のものとなっている。

協力店の申込み状況は、7 店舗（8 月 17 日現在）であり、内訳は、ホテル業 1 店舗、喫茶店 3 店舗、和食店 2 店舗、居酒屋 1 店舗である。また、愛知県の食品衛生協会小牧支部の講習会に参加した際のアンケート調査では、18 店舗（すでに申込みのある 2 店舗含む）の事業者が参加したいと回答があり、今後 16 店舗ほど申込みがあると考えられる。

記者 実証事業として何かデータを取るのか。

市 協力店や mottECO 利用者に対して、アンケートの実施を検討している。その結果を本格導入への検討材料としていきたい。

記者 1 店舗につき持ち帰り容器の配布個数が 20 個とあるが、すぐになくなってしまうと考えられるが、追加などあるのか。

市 配布個数の根拠は、すでに実施している他自治体の 3 か月間の実験で、1 店舗あたりの平均個数が 10.5 個という実績が出ているため、不足が生じないよう 20 個という個数とした。不足が生じた場合も追加で渡せるよう考えている。

記者 持ち帰りができない食品を定めるのか。

市 国の食べ残し持ち帰り促進ガイドラインをもとに運用を進める。ガイドラインでは、持ち帰りに適する食品として、十分に加熱されている食品、常温での保存が可能な食品、水分含有量が少ない食品などが例示されている一方で、生ものや半生の食品、加熱が不十分な肉料理など食品衛生上リスクの高いものは対象外とされているため、そのガイドラインに従っていたく。

記者 mottECO に参加する県内の自治体は小牧市が初であるのか。
市 mottECO という名称での取組を行う県内自治体はない。ただ、2019 年に名古屋市がドギーバッグを使用した取組は行っている。

■燃やすしかないごみ排出の臨時措置の延長及び終了について

記者 販売店舗への調査はいつ行ったのか。在庫が充足している店舗数は。
市 調査は、8 月 12 日に実施し、62 店舗中 48 店舗で充足していると確認した。

■こまき令和夏まつり

記者 今年ならではの特徴は。昨年の来場者数は。
市 今年は、現在放映中の大河ドラマ「豊臣兄弟！」にて小牧・長久手の合戦が描かれることに期待し、戦国に注目したコンテンツである「戦国こども縁日」「戦国水合戦」を行う。また、手筒花火と太鼓の競演ステージを実施する。昨年の来場者数は約 5 万人である。
記者 今年のキッチンカーや露店の数は。
市 キッチンカー、露店併せて 50 店舗である。

■こまき信長夢夜会について

記者 市長は、こまき信長夢夜会をどのように市民に楽しんでもほしいと考えているのか。
市長 小牧山を訪れて、洒落者であり、風流を愛した信長に招待された気分アルコールを飲みながら本市に関わる食材を使用した食事を楽しんでもらえれば。

■その他

記者 市長選の公約の中で、オアシス小牧の開業支援を掲げていたが、現在オアシス小牧がどういう状況に置かれているか認識されているのか。課題や期待することはあるか。
市長 現時点では、開発が完了するのを待っている状況である。個人的には、本市の東部にハイウェイオアシスができることは、大変好ましいと思っているが、市長としては、今はただ工事の完了を見守るのみである。開業支援については、直接、支援要請があれば考えるが、今のところない状態では検討のしようがない状況である。